



平成22年8月3日

各位

東京都港区芝大門一丁目16番3号
 株式会社インフォマート
 代表取締役社長 村上 勝照
 (コード番号: 2492 東証マザーズ)
 問い合わせ先 常務取締役 管理本部長
 藤田 尚武
 電話 (03)5777-1710

株式会社インフォマート

2010/12期 第2四半期決算ハイライト

— 「FOODS Info Mart」利用企業数 21,118社へ拡大し、増収増益 —

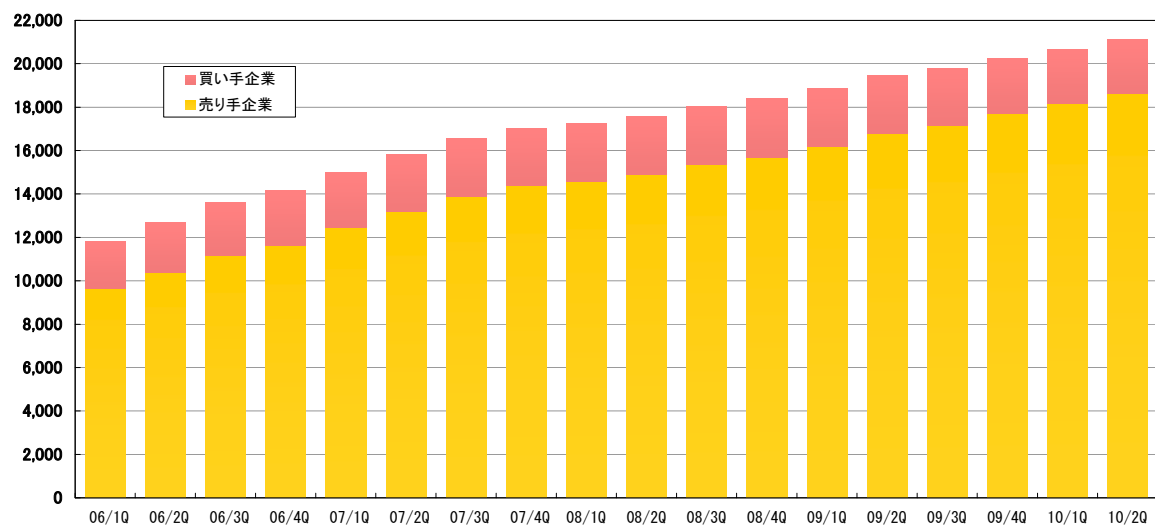
(単位:百万円)

			2009/12期 2Q累計		2010/12期 2Q累計			2010/12期 通期	
			実績	計画	実績	前年同期比	計画比	計画	前期比
売上高	ASP商談	システム使用料	396	461	404	1.9%	-12.4%	1,078	32.4%
		アウトレット	130	13	13	-89.7%	0.0%	26	-90.0%
		合計	527	474	417	-20.8%	-12.0%	1,104	2.6%
		ASP受発注	793	888	901	13.6%	1.5%	1,860	11.5%
		ASP規格書	78	147	145	85.8%	-1.4%	320	63.3%
		海外ライセンス	-	4	0	-	-	20	400.0%
		クラウドサービス	-	17	-	-	-	140	-
	合計	1,399	1,531	1,464	4.7%	-4.4%	3,445	17.0%	
売上原価		496	459	463	-6.8%	0.9%	979	-3.2%	
売上総利益		903	1,072	1,001	11.0%	-6.6%	2,466	27.6%	
販管費		574	814	669	16.4%	-17.8%	1,666	38.3%	
営業利益	ASP商談		1	-49	-34	-	-	10	100.0%
	ASP受発注		359	386	429	19.5%	11.1%	833	9.2%
	ASP規格書		-19	16	21	-	31.3%	57	-
	海外ライセンス		-12	-22	-33	-	-	-50	-
	クラウドサービス		-	-72	-50	-	-	-50	-
	合計		328	258	332	1.4%	28.7%	800	10.0%
経常利益			328	258	332	1.5%	28.7%	800	10.0%
当期純利益			191	152	192	0.7%	26.3%	463	14.0%
1株当たり配当金(円)			3.000	3.300	3.300	+300	-	6.600	+600

(注) アウトレットの売上高は、IFRS対応で2010/12期より「純利方式」に変更いたしました。売上総利益には影響ありません。

【FOODS Info Mart 利用企業数の推移】

(単位:社)



1. 2010/12 期 第2四半期決算の概要

■全体

- ・ 外食チェーンを中心とした「ASP 受発注システム」の順調な利用拡大及び昨年のリニューアル効果による「ASP 規格書システム」の堅調な利用拡大により、システム使用料が増加。新システム「ASP 受注・営業システム」の新規売上分も加わる。
- ・ 「ASP 受発注、規格書システム」のシステム使用料の増加が、システム関連コスト及び販管費の増加、新規事業（海外ライセンス、クラウドサービス）への投資経費を吸収し、増益を確保。

■ASP 商談事業

- ・ 「ASP 受注・営業システム」の食品卸会社の稼働数は 48 社に増加。6 月単月のシステム取引高は 1 億円を超える。
- ・ 「ASP 商談システム」は、新規数減少により利用企業数が純減。取引活性化策で対応。

■ASP 受発注事業

- ・ 「ASP 受発注システム」は外食チェーンに加え、ホテル等の他業態での利用も進み、順調に利用企業数が増加。買い手稼働 728 社、買い手店舗数 15,779 店舗、売り手 16,271 社に増加。

■ASP 規格書事業

- ・ 「ASP 規格書システム」は昨年のリニューアル効果により、食の安全・安心をサポートする商品規格書データベースとして利用拡大が継続。自社管理システムとしての導入も進む。買い手稼働 152 社、売り手 3,318 社に増加。

■海外ライセンス事業

- ・ 北京パートナー企業が、現地外食チェーン向けに「ASP 受発注システム」の利用を推進。買い手 1 社稼働中。

■クラウドサービス事業

- ・ メーカー・卸会社間のクラウド型プラットフォーム「FOODS Info Rise 販促支援システム」を 6 月にリリース、卸会社 113 社が新規利用。メーカーの利用は 8 月から開始。

2. 2010/12 期 業績予想について

■第 2 四半期累計期間業績予想への結果について

（売上面）「ASP 受発注システム」は売り手新規社数の増加によりシステム使用料が計画を上回りましたが、「ASP 商談システム」の新規数減少による利用企業数の純減及び新システム「ASP 受注・営業システム」の計画に対する遅れ、また、クラウドサービス事業の売上計上開始が下期にずれ込んだことから、計画比 4.4%減となりました。

（利益面）売上の計画比の状況から売上総利益も計画比 6.6%減となりましたが、「ASP 受注・営業システム」の販促費発生 of 下期へのずれ込みや一部販管費の未発生により、営業利益は計画比 28.7%増となりました。

■通期連結業績予想について

（売上面）ASP 商談事業の「ASP 受注・営業システム」の利用拡大が着実に進んでおり、下期での稼働数、システム取引高の増加を見込んでいます。また、「ASP 受発注、規格書システム」は引続き、堅調に推移する見込みで、クラウドサービス事業からの売上も下期に計上される予定です。よって、売上高は 3,445 百万円（前連結会計年度比 17.0%増）となる見通しです。

（利益面）売上計画の達成と上期での販管費の未消化分（主に「ASP 受注・営業システム」の販促費等）が下期に発生する予定から、営業利益は 800 百万円（前連結会計年度比 10.0%増）、経常利益は 800 百万円（同 10.0%増）、当期純利益は 463 百万円（同 14.0%増）となる見通しです。

以上から、連結業績予想は、前回公表（2010 年 2 月 15 日）から変更はありません。

以上